

主日礼拝

2023年3月19日
午前10時30分

前奏 「父なる神のひとりのみ子」(J.S.バッハ)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「¹⁵高く、あがめられて、永遠にいまし
その名を聖と唱えられる方がこう言われる。
わたしは、高く、聖なる所に住み
打ち砕かれて、へりくだる霊の人と共にあり
へりくだる霊の人に命を得させ
打ち砕かれた心の人に命を得させる。」
(イザヤ書 57:15)

頌栄 24 「たたえよ 主の民」

受難節のリタニー

《受難節第4主日》

司式者：私たちは十字架のあがないを否定し、自分たちの傲慢によって生きていこうとしたことを告白します。これからはもっと、私たちに十字架による赦しを受け入れる信仰を与え、また私たちが人を赦すことのできる愛を与えてください。

会衆：主よ、私たちをあわれみ導いてください。

司式者：イエスさまが敵を赦しながらも、十字架の上で苦しみを受けたことを思いつつ、このろうそくを消します。(消火)

祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。

我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

聖書 ルカによる福音書 9:28~36

新約(新共同訳) p123

28この話をしてから八日ほどたったとき、イエスは、ペトロ、ヨハネ、およびヤコブを連れて、祈るために山に登られた。29祈っておられるうちに、イエスの顔の様子が変わり、服は真っ白に輝いた。30見ると、二人の人がイエスと語り合っていた。モーセとエリヤである。31二人は栄光に包まれて現れ、イエスがエルサレムで遂げようとしておられる最期について話していた。32ペトロと仲間は、ひどく眠かったが、じっとこらえていると、栄光に輝くイエスと、そばに立っている二人の人が見えた。33その二人がイエスから離れようとしたとき、ペトロがイエスに言った。「先生、わたしたちがここにいるのは、素晴らしいことです。仮小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのためです。」ペトロは、自分でも何を言っているのか、分からなかったのである。34ペトロがこう言っていると、雲が現れて彼らを覆った。彼らが雲の中に包まれていくので、弟子たちは恐れた。35すると、「これはわたしの子、選ばれた者。これに聞け」と言う声が雲の中から聞こえた。36その声がしたとき、そこにはイエスだけがおられた。弟子たちは沈黙を守り、見たことを当時だれにも話さなかった。

賛美 285(1,2,3) 「高き山の上」

- ① 高き山の上 主の姿がわり 神の栄光に 光とかがやく。
- ② モーセとエリヤは 主と語りあえば 弟子らは恐れて ひれふしあがめた。
- ③ かがやく雲わき み声はとどろく、 「これこそわたしの 愛するひとり子」。
- 4 たたえよ、み民よ、この神の不思議。 み国の栄えを 望みて喜べ。

説教 「神の子、イエスさまとは」

司式 光成 由樹
 説教 向井 希夫牧師
 奏楽 大代 恵

賛美 303(1,2,4) 「丘の上の主の十字架」

On a hill far away stood an old rugged cross
 詞: George Bennard, 1873-1958

OLD RUGGED CROSS
 曲: George Bennard, 1873-1958



① おかの うへの 主のじゅうじか くるしみのしるしよ -。
 ② 世のひとびと あざけるともじゅうじかはしたわし -、>
 ③ あらけすりの 主のじゅうじか、かぎりなくとうとし -。
 ④ なやみも死も なにかはあらん、くるしみもいとわじ -。>



ひとのつみを 主は身におい あたえたむいのちを -。
 > こひつじなる かみのみ子の くるしみをおもえば -。
 われをゆるし、きよくするは ただ主の血しおのみ -。
 > さかえのあさまちわびつつ ないゆかん十字架を -。

(くりかえし)



世のさかえうちすて - じゅうじかにすがりて -



ひとすじにわれゆかん -、みすくいにいるまで -。

- | | |
|---|--|
| <p>① 丘の上の 主の十字架
 苦しみのしるしよ。
 ひとの罪を 主は身に負い
 与えたもう、いのちを。
 世の栄え うちすて。
 十字架にすがりて
 ひとすじにわれゆかん、
 み救いに入るまで。</p> | <p>③ あらけすりの 主の十字架、
 かぎりなくとうとし。
 われを赦し、きよくするは
 ただ主の血しおのみ。
 世の栄え うちすて。
 十字架にすがりて
 ひとすじにわれゆかん、
 み救いに入るまで。</p> |
| <p>② 世の人ひと あざけるとも
 十字架はしたわし
 小羊なる 神のみ子の
 苦しみを思えば。
 世の栄え うちすて。
 十字架にすがりて
 ひとすじにわれゆかん、
 み救いに入るまで。</p> | <p>④ 悩みも死も なにかはあらん
 苦しきもいとわじ。
 さかえの朝 待ちわびつつ
 ないゆかん 十字架を。
 世の栄え うちすて。
 十字架にすがりて
 ひとすじにわれゆかん、
 み救いに入るまで。</p> |

※お立ちになるのが困難な方は、
 座ったままで礼拝をお守り下さい。
 ※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。

派遣

司式者 主は言われます。
 「わたしは誰を遣わすべきか。」
 会衆 わたしがここにおります。
 わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン



アーメン アーメン アーメン

後奏 「血しおしたたる(311)」 (J.ブラーム)